

製品名: チログロブリン (4G11) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe18911**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:20000,IHC 1:200-1:500
分子量	305kDa

抗原情報

遺伝子名	TG
別名	AITD3; hTG; TDH3; Tg; TGN; Thyroglobulin;
遺伝子 ID	7038.0
SwissProt ID	P01266
免疫原	ヒト甲状腺グロブリンの合成ペプチド

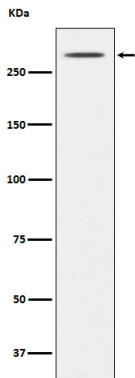
背景

ヨウ素化甲状腺ホルモンであるチロキシン (T4) およびトリヨードチロニン (T3) の前駆体。ヨウ素化甲状腺ホルモンであるチロキシン (T4) およびトリヨードチロニン (T3) の産生における基質として作用する (PubMed:32025030、PubMed:17532758)。T3 および T4 の合成は、TG/チログロブリンの選択されたチロシン残基のヨウ素化と、それに続く甲状腺濾胞腔における酸化カップリングによって行われる (PubMed:32025030)。TG の再取り込みおよびリソソームを介したタンパク質分解の後、T3 および T4 はポリペプチド骨格から遊離し、血流中に分泌される (PubMed:32025030)。1 つの二量体は 7 つの甲状腺ホルモン分子を生成します (PubMed:32025030)。

研究分野

自己免疫甲状腺疾患;

画像データ



マウス甲状腺溶解液中のチログロブリン発現のウェスタンブロット分析。